

2026年8月期 国内事業 月次売上速報
(2025年9月1日～2026年8月31日)

2026/3/10
フェスタリアホールディングス株式会社

■売上高推移

(単位：%)

		前 期 比														
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	合計
全店(※1)	売上高	94.8	111.7	102.9	105.4	115.3	107.4	106.1								106.1
	客数	89.9	97.7	99.8	95.1	101.6	100.2	97.2								97.2
	客単価	105.5	114.3	103.1	110.8	113.5	107.2	109.1								109.1
既存店(※2)	売上高	94.6	110.8	101.9	104.9	112.8	107.6	104.8								104.8
	客数	90.0	95.3	97.1	92.9	99.5	98.3	94.9								94.9
	客単価	105.1	116.3	105.0	112.9	113.4	109.4	110.4								110.4

(※1) 全店：国内直営店+EC+富裕層ビジネス

(※2) 既存店：前期期首から期末まで通年で稼働した国内直営店

■月次動向(2月度)

<p>【販売情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月の既存店売上は、ベーシック商品や地金商品が堅調に推移し、前期比107.6%となりました。価格改定や天候不順の影響により客数は減少したものの、ブライダル関連商品が引き続き好調に推移したことから、客単価が上昇し、増収に寄与しました。 ・EC売上は、キャンペーン施策強化の効果もあり、自社オンラインサイトおよび他社モールともに増収となりました。 ・富裕層ビジネスは、百貨店外商催事への積極的な参画を通じて売上基盤の構築が進むとともに、将来的な購買につながる有望顧客の獲得・蓄積が進展しました。 <p>【名簿数の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月末時点の登録名簿数は42.2万人となり、前期末(8月末)の38.8万人から3.4万人増加し、前期末比8.8%の増加となりました。
--

◆店舗数推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期平均稼働店舗数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期平均稼働店舗数	通期平均稼働店舗数
国内直営店舗数	当期	76	75	76	76	75	75	76								76
	前期	77	77	77	77	77	75	77	75	75	75	75	75	75	75	76

◆出退店・改装情報

<p>【出店】 イオンモール須坂店(9月)、ニューポートひたちなかファッションクルーズ店(11月)</p> <p>【退店】 セレオ八王子店(10月(一時閉店))、ららぽーと湘南平塚店(1月)</p> <p>【改装】 ららぽーとTOKYO-BAY店(10月)</p>
